

基本目標

「21世紀のひろしま文化」を発信するために
～ つくる。つなぐ。たのしむ。～

社会経済の急速な変化が進む中，文化の重要性は広く認識されてきている。

とりわけ，地方分権の時代において，地域，地域が輝く個性を発揮する上で，文化の果たす役割は極めて大きい。

広島県が策定した県政中期ビジョンの目標として掲げられた「元気な広島県」づくりの実現にとっても，文化・芸術の振興がより一層重要性を増しており，21世紀を歩き始めた広島県の新たな魅力の創出が求められている。

もとより広島県は，風光明媚な瀬戸内海や四季折々の彩りを見せる中国山地をはじめとする，豊かな自然と交通交易の要衝の地として栄えた歴史を持ち，これらを背景として多彩な文化を育んできた。

このような過去からの財産を現在，未来へと「つなぐ」（継承する）とともに，地域の文化，他県の文化，他国の文化を「つなぎ」（交流し），「21世紀のひろしま文化」として発信できる新たな文化を「つくる」（創造する）ことが，まさに今，求められている。

それは，かつてのように堅苦しさを感じさせるものではなく，余裕をもって，生活を，仕事を，行政推進においても，そして文化・芸術活動に参加する上でも，「たのしむ」心で臨みたい。

本提言は，広島県の文化・芸術振興を進めるために，「つくる。つなぐ。たのしむ。」をキーワードに，「『21世紀のひろしま文化』を発信するために」を基本目標として掲げることとした。